

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			どの時間帯においても、利用者様と職員がマンツーマンで支援できる環境を整えております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関前に段差はありますが、身体的なハンディキャップを持つ利用者様ご利用されるときには、スロープの設置等を検討予定です。事業所内については段差はなく、支援スペースと職員室の大きく2フロアに分けています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画だけでなく、日々の業務・イベントなどの企画で PDCA サイクル表を設け、ねらいや目的を確認し振り返りを行うことで、次につなげています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年欠かさず公表を行っております。またいただいたご意見は会社全体で共有し、改善に向けて取り組みをさせていただいております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			⑤同上
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価ではありませんが、福山地域の「クラ・ゼミ」3校舎で互いにチェック・評価を行っております。また、社内評価システムの元で健全な運営を行っております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			提携先の財発達支援研究所の研修や、職員レベル別の研修に参加しております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎支援ごと行うフィードバックや面談等の情報を事業所全体で共有し、利用者様理解を深めながら計画を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			初回面談時のアセスメントシートや、年度ごとに行う「子どもの強さと困難さアンケート」（SDQ）など、社内で統一されたアセスメントツールを使用しております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ケース会議や職員会議などを通して、互いに意見を出し合い、プログラム立案を行っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			⑪同上
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画のもと、保護者様とも相談をしながら必要な支援を提供しております。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月に1度程度、小集団での活動を提案させていただくなど、状況に応じた支援の提供をしております。また、利用者様の状況を鑑み、他事業所の斡旋を行っております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼・夕礼を行い、利用者様情報や支援の役割分担など、必要な時には適宜、ミーティングを行っております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		⑮同上
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画更新や変更時には面談を行い、計画の評価、現状の共有を行い、見直しに繋げています。
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			⑪同上
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者並びに担当支援員が参加しております。
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校連携を行っております。教材の共有や方向性、役割分担の確認などを行っております。また当事業所の見学はいつでも可能にし、利用者様の様子が知れるようにしております。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当利用者様はございません。該当ケースがある場合には、積極的に連携の機会を設けます。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			⑲同上
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			⑳同上
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			利用者様の選択肢の一つとして事業所を紹介していただいたり、連携がとりやすい環境を整えております。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回欠かさず出席させていただいております。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			⑨同上
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方や声掛けの方法、ご家庭での在り方などアドバイスさせていただいております。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			初回契約時に利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。また、イレギュラーがあった際にも、納得いただける説明を心掛けております。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			⑨同上 また必要に応じて、事業所内相談、家庭連携などを行っております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現状、実施できておりませんが、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			営業時間帯はいつでも対応できるようにしております。また校舎入口に苦情窓口を掲示しております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			公式 LINE や当社 HP を活用し、事業所の様子や行事予定などの告知を行っております。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーを使用し、個人情報の保護に努めております。また社内研修を行うことで、職員の意識向上を図っております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個に応じた対応を行っております。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは事業所入口に置き、常時閲覧可能にしてあります。
非常時等の対応	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月防災訓練を1回以上実施しております。また年間でスケジュールを組み、利用者様と一緒に訓練を実施することもございます。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年外部の研修を受講しております。さらに社内でも独自の研修を行っております。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について重要事項説明書や運営規定、個別支援計画にも明記させていただいております。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内だけでなく、福山地区3校舎でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福山 校 保護者等数（児童数）： 37 回収数： 32 割合： 86.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	2		スペースが確保されており、安心安全に利用できています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	3		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	20		身体的なハンディキャップを持つ利用者様にご利用されるとなった時には、スロープの設置等を検討予定です。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	31			定期的に課題を分析してもらい、計画を作成してくれています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	32			勉強面の困りごとだけでなく、将来の「自立」に向けた困りごとの解決をプログラム化してくれています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	21	7	コロナ禍ということもあり、三密回避を充分徹底した上で、要望がございましたら交流を実施していきます。現状、ご要望はございません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32			毎回状況を伝えてもらい、課題についても共通理解できています。毎支援時、フィードバックの時間を設けています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	18	9	⑥同上
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	8		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	4		LINE やチラシ、ポスターなどで行事予定や支援の工夫を発信してくれています。
⑭	個人情報に十分注意しているか	28	4			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	2		靴箱上にマニュアルファイルを設置しております。今後は周知・説明を機会をみて行います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	10	2	毎月、災害を想定した避難訓練を実施しております。玄関を入っていただいた左壁面に防災訓練の報告書やハザードマップ、緊急避難経路など掲示しています。今後は LINE 等の配信でも具体的な内容を知っていただけるよう努めます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	2		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	31	1		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。